



学校だより

狛江で育ち狛江一中で学んだことを
生涯の誇りにできる生徒の育成
2月号 令和4年2月1日

狛江市立 狛江第一中学校

狛江市和泉本町 2-15-1
TEL 03 (3480) 0121

一生懸命やることが「楽しい」につながる

校長 吉田 知弘

脳科学者の茂木健一郎氏はご自身の訳書の中で次のように説明されています。

「原始時代、人類の祖先は状況を楽観的に考えるよりあらゆる危険に注意を払うような暮らしをしていました。いつも最悪の状態を想定して警戒していました。(中略)人間の本能はやはり楽観的に考えるより悲観的な思考を選んでしまうのです。」

つまり、人は放っておくと自分にとって最悪なことを考えてしまうように脳ができており、何もしないでいると「不安」がわき起り、不安がわき起こるから行動するという流れができあがるわけです。忙しく行動する、勉強する、お手伝いをする、本を読むなど、忙しい自分を作ることが不安の解消になるのかもしれませんが、逆に、何もしないことが不安を大きくさせると言えるのかもしれませんが、一般社会においても、仕事が辛く楽しくないから一生懸命やれないと嘆き、不安をもっている人はいます。しかし、「仕事がおもしろくない」という人ほど、その仕事に「一生懸命取り組んでいない」という現状があてはまるかもしれません。学校も同じです。授業や行事の際、それらの取組に「わからない」とか「おもしろくない」と最初から決めつけて本気で参加せず、何もしないということが余計な不安を大きくしてしまうことになります。

しかし、本当は「楽しくないから一生懸命にやらない」ではなく、「一生懸命にやらないから楽しくない」、「おもしろくない」のではないのでしょうか。何もしないでいると不安がわいてくるのが人間なので、一生懸命せつせと動くといつの間にか不安が消えていくはずです。つまり楽しみが少しずつ見えてくるということです。「楽しいから一生懸命になる」ことばかりではなく、「一生懸命にやるから楽しくなる」ことだってたくさんあるはずです。勉強や行事に一生懸命になるから、その学びや取組の内容が楽しくおもしろいものになります。一生懸命にやると、不安もなくなり楽しくなるのが人間なのです。

まずは目の前のことに、とにかく一生懸命になってみましょう。それがいつか「楽しい」「もっと頑張りたい」という気持ちにつながるはずです。

今年度も残り2ヶ月となりました。生徒一人一人がそれぞれの学年での学びを充実した形で締めくくられますよう、保護者、地域の皆様方の引き続きのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

1 組移動教室

1組主任 佐藤 真人

1月19日(水)・20日(木)の1泊2日、感染症対策を講じた上で、山梨県への移動教室を実施しました。「富士緑の休暇村」に宿泊し「ふじてんスノーリゾート」でスキー教室を行いました。天候にも恵まれ、晴天の中滑ることができました。初めてスキーを行う生徒が多かったのですが、インストラクターの方々に丁寧に教えていただき滑れるようになりました。昨年度、宿泊行事ができなかったこともあり、宿舎で生活することがとても新鮮でした。部屋で一緒に過ごしたり、みんなで入浴したりすることができ楽しく過ごせました。また、買い物学習を行い、決められた金額内で家族へのお土産をどれにしようかと悩みながら選ぶ姿も見られました。おこづかい帳への記入も班員と行うことでいつもとは違う環境での学習に取り組むことができました。普段の学校生活だけでは学べないことを数多く経験でき、とてもよい宿泊行事となりました。



福祉体験

1学年担当 西村 景

1月20日(木)、1年生は「福祉体験の日」でした。午前中は、こまえ正吉苑の大井剛さんを講師にお迎えしての「認知症サポーター養成講座」と、狛江市市民活動支援センター こまえくぼの白石珠美さんを講師に、また、視覚障がい者ゲストとして並木ヒロコさんをお迎えして「視力障がい体験・講座」を実施しました。

認知症サポーター養成講座では、「認知症とはなにか」「認知症の症状」「認知症の人への支援」などについての講義を聴き、さらに映像資料などを使った具体的な場面設定での適切な行動について考えるワークや質疑応答も行い、生徒にとって認知症を身近な問題として捉える貴重な機会となりました。視力障がい体験では、生徒同士がペアになり、一人がアイマスクをし、もう一人がガイド役として歩行体験や作業体験などを行いました。視力障がい講座では、リモートで並木さんのお話を伺い、生徒からの質問に答えさせていただきました。

午後は、車いすバスケットボールのパラアスリート 小田島理恵さんをゲストにお迎えし、車イスでの生活の苦労や、生徒たちに知ってほしいことや気付いてほしいことについてご講演をいただきました。その後、希望した生徒60名が競技用の車いすを使用しながら、車いすバスケットボールに挑戦しました。



一中生の活躍を紹介

- バスケットボール部 (女子) 第9回 NNG 杯女子の部優勝
第9回 NNG 杯優秀選手賞 島田 めぐみさん
- バレーボール部 第23回9ブロック冬季交流大会優勝
第23回9ブロック冬季交流大会ベストプレイヤー賞 石富 真子さん
- 吹奏楽部 第55回東京都中学校アンサンブルコンテスト銀賞
- 第66回北多摩地区中学校美術展出品生徒
＜第2学年＞
塑造「ほんものそっくり?!」
新田 真陽乃さん 三住 源太郎さん 島田 めぐみさん 高橋 芽咲さん
二ノ宮 堇さん 藤木 志勇さん 真嶋 優さん 絹山 菜蘭さん
城野 啓介さん 滝澤 清さん 武井 良来さん
デザイン「創作文字」
齋藤 美蕾さん 植田 凜さん 辻山 陽菜さん
片倉 彩さん 志村 真珠さん 武井 良来さん
＜第3学年＞
絵画「水墨画に挑戦」
塗木 ルナさん 前田 菜緒さん 石坂 素世さん 鈴木 小夏さん
辻 こはるさん 富永 瑠唯さん 名雪 裕太さん 杉浦 里夏さん
高橋 龍生さん 羽田 葵さん 氷見 百花さん 渡邊 琴凜さん